

CASBEE[®] 新築 [簡易版]

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-新築 (簡易版) 2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	立命館中学校・高等学校	階数	地上6F
建設地	長岡京市調子1丁目25番地他	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域、準防火地域	平均居住人員	2,000人
気候区分		年間使用時間	4,000時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年7月末 予定	評価の実施日	2012年3月15日
敷地面積	42,209 m ²	作成者	荒井、山野上、宮崎
建築面積	10,391 m ²	確認日	2012年4月12日
延床面積	36,918 m ²	確認者	宮崎裕輔(04285-16)



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 4.8 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	79%
③上記+②以外の	76%
④上記+	76%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 4.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 4.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 4.0

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 4.5

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 4.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 4.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 4.1

3 設計上の配慮事項	
総合 ・ 現深草キャンパスからの移転し生徒数約2000人による4・4制の新たな小中高一貫教育を展開する。 ・ 太陽光パネル、放射空調、ライトシェルフ等、環境配慮が生徒にも分かるエコスクール。 ・ 竣工後も年間エネルギー消費量の目標値を設定した運用管理を行う。 ・ 景観(西山の山並み)、高さ制限20m、近隣に配慮した、「エコスクール」をイメージさせる外観デザイン。	その他 ・ 長岡京市景観デザイン審査会の開催 景観形成基準を順守。
Q1 室内環境 ・ 開口部遮音等級T-2以上 ・ 壁遮音Dr-45以上 軽量鉄骨 P B12+12 GW充填。 ・ 壁、天井の二面に吸音材を使用。 ・ 放射空調の採用、床吹き出し空調の採用。	Q2 サービス性能 ・ 天井ホルダー、ゴムチップ舗装、照明と内装の一体計画、3D検証を行う。 ・ 防汚性の高い内装仕上げ、水切りなど壁面が汚れない配慮・設計を行う。
LR1 エネルギー ・ アトリウム自然換気・クールビット等の採用。 ・ 太陽光パネルの設置。 ・ 中央監視体制。 ・ 目標値を設定した運用管理。	LR2 資源・マテリアル ・ 躯体と仕上げ材が容易に分別可能製品の採用: タイルカーペットなど ・ 超節水大便器の採用。 ・ 再生木デッキの採用。
	Q3 室外環境 (敷地内) ・ 屋上緑化による下階の冷房負荷低減。 ・ 教室に庇を設置し建物修景と日照負荷低減を図る。 ・ 屋根形状は山並みに馴染む円形を採用。 ・ 昇降口前ピロティ化。
	LR3 敷地外環境 ・ 桜並木の保存。 ・ 上方光束の無い器具を使用。 ・ 広告物照明の不採用。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

2010.12.1